

角野中学校 自己評価（生徒生活アンケート）

※評価方法：A…そう思う B…ややそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない
 それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。
 ※考察で触れた項目を黄色で着色した。

No.	評 価 項 目	A	B	C	D	平成29年度 肯定的評価 A+B (%)	平成28年度 肯定的評価 A+B (%)
1	学校生活は、充実している。	60.3	31.2	5.8	2.7	91.5	91.4
2	友達との関係はうまくいっている。	68.1	26.8	2.0	3.1	94.9	94.1
3	先生との関係はうまくいっている。	50.5	38.0	7.5	4.1	88.5	91.8
4	家族とは仲良く生活できている。	73.9	19.7	5.4	1.0	93.6	94.8
5	いじめられたり、いじめを見たり聞いたりしたことがない。	57.5	25.2	10.5	6.8	82.7	85.6
6	周りの人を思いやる行動ができた。	55.5	37.7	6.5	0.3	93.2	91.4
7	あいさつがよくできた。	57.6	32.9	7.5	2.0	90.5	90.0
8	学校での身だしなみは常に整っている。	65.6	29.3	4.8	0.3	94.9	93.8
9	時と場合に応じて、いつもていねいな言葉や敬語が使えている。	54.9	34.9	9.2	1.0	89.8	90.4
10	いつも、時間を守って行動できている。	59.3	32.5	7.1	1.0	91.9	93.8
11	いつも、身のまわりの整理整頓ができている。	83.1	14.6	1.4	1.0	97.6	92.1
12	いつも、清掃をがんばっている。	80.0	18.0	1.7	0.3	98.0	98.6
13	生徒会活動や委員会活動、係の仕事をがんばっている。	82.0	13.9	2.7	1.4	95.9	97.9
14	学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している。	62.7	21.9	7.5	7.9	84.6	95.9
15	部活動は充実している。	49.8	43.7	5.4	1.0	93.6	87.8
16	いつも、教科の授業に意欲的に取り組んでいる。	53.4	36.4	8.8	1.4	89.8	90.7
17	いつも、道徳や特活の授業に意欲的に取り組んでいる。	25.7	37.7	27.1	9.6	63.4	89.4
18	私の学力は向上している。	33.9	42.7	18.3	5.1	76.6	61.5
19	家庭での学習はよくできている。	33.9	42.7	18.3	5.1	76.6	69.7
20	いつも、宿題や提出物はしめきりを守りきちんと提出できている。	63.7	24.1	6.8	5.4	87.8	86.3

（考察）

- 肯定的評価を昨年度比で見るとNo18「学力の向上」が15.1ポイントと大幅に増加している。しかし、肯定的評価そのものは76.6%と決して高くない。No19「家庭学習」も同様である。保護者の評価も教職員の評価も同じ傾向で、本校の課題である。
- 肯定的評価の最も低い項目がNo17である。この数値に我々教職員は大きな危機感を突きつけられた。「特別の教科・道徳」の実施、それ以上に本校生徒の豊かな人間性の育成のために、心して平成30年度の計画、実践に努めなければならない。
- No5で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒が合わせて17.3%もいる。厳然とした事実として、つらい思いをしている生徒がいること、そしていじめが見えにくい形で存在していることを示している。我々教職員は常にアンテナを張って情報を共有して、いじめの芽を摘むこと、早期発見、対応に努めなければならない。

角野中学校 自己評価（保護者）

※評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない
それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。

※考察で触れた項目について黄色で着色している。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	平成29年度 肯定的評価 A+B (%)	平成28年度 肯定的評価 A+B (%)
1	学校 イメージ	角中生は中学生らしく、望ましい方向に向上していると思いますか。	35.1	57.7	6.8	0.4	92.8	92.7
2		お子さんを本校に入学させて良かったと思いますか。	50.8	41.7	6.4	1.1	92.5	94.0
3		学校は、学級の様子や学校の様子を積極的に家庭へ連絡していると思いますか。	29.3	47.0	21.1	2.6	76.3	76.9
4	学習指導	先生はわかりやすい授業に努めていると思いますか。	25.9	52.1	20.9	1.1	77.9	76.8
5		お子さんの学力は向上していると思いますか。	10.3	42.7	40.1	6.9	53.1	53.1
6		お子さんは家庭での学習がよくできていると思いますか。	10.2	36.8	40.2	12.8	47.0	52.2
7		お子さんは忘れ物（宿題や提出物）が少ないと思いますか。	34.0	37.4	20.8	7.9	71.3	71.3
8	生徒指導	お子さんの挨拶はよくできていると思いますか。	39.8	42.5	16.2	1.5	82.3	87.5
9		お子さんは学校や社会のルールが守れていると思いますか。	50.0	42.9	6.8	0.4	92.9	96.2
10		学校（教職員）はご家庭との人間関係づくりに努めていると思いますか。	26.9	50.0	20.1	3.0	76.9	
11		学校はいじめのない学級・学校作りに努めていると思いますか。	22.7	56.1	15.9	5.3	78.8	81.4
12	先生は子どもの間違った行動を適切に指導してくれていると思いますか。	27.5	53.2	15.1	4.2	80.8	85.6	
13	道徳 特別活動	学校は人権・同和教育について家庭や地域に適切な啓発活動を行っていると思いますか。	32.6	60.6	6.1	0.8	93.2	89.8
14		学校は清掃や整備がいきとどき適切な環境になっていると思いますか。	40.7	51.7	6.1	1.5	92.4	94.0
15		学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実していると思いますか。	49.2	46.2	4.1	0.4	95.5	95.8
16		部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。	35.8	43.4	16.6	4.2	79.2	82.9

（考察）

- No5、No6の肯定的評価の低さやNo6の昨年比5ポイント以上のマイナスについて、生徒の学力の向上や家庭学習の現状に保護者が大きな不安を抱いていることがわかる。「ともしび」に各教科の「学習のポイント」を掲載しているが、お題目にとどまらぬよう有効に活用しなければならない。
- 生徒指導各項目の評価が昨年比2～5ポイントのマイナスになっている。今年からの追加項目であるNo10の「学校は家庭との関係づくりに努めているか」という点も高評価とは言いがたい。評価項目には、保護者が直にその目で見て判断するものと、生徒の姿を通して判断するものがある。事後対応に追われるのではなく、事前にあるいは積極的に打って出る、保護者・地域に見える指導・取組も必要であると思われる。
- No8の生徒の挨拶については、しっかりと身に付けさせるよう年度当初から話題に上せてきたが、教職員の評価も低調である。朝の挨拶運動などの取組が実のあるものになるよう、心情面も含めてしっかりと取り組んでいかなければならない。

角野中学校 自己評価（教職員）

※ 評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない
AとBの回答数の百分率の和を肯定的評価とした。また、考察で触れた項目を黄色で着色した。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	H29年度 肯定的評価	H28年度 肯定的評価
1	学校 イメージ	角野中の生徒は目標をもち、望ましい方向に向上している と思いますか。	5.3	78.9	15.8	0.0	84.2	73.9
2		角野中は学校として落ち着きをもち、安定した教育活動が なされていると思いますか。	15.8	68.4	15.8	0.0	84.2	91.3
3		学校は家庭や地域との連携や情報提供を積極的に行ってい ると思いますか。	26.3	63.2	10.5	0.0	89.5	91.3
4	教科指導	授業方法を工夫・改善して、わかる授業づくりに努めてい ると思いますか。	15.8	73.7	10.5	0.0	89.5	87.0
5		生徒は授業に意欲的に取り組んでいると思いますか。	5.3	84.2	10.5	0.0	89.5	87.0
6		生徒の理解度に気を配り、公平に評価をしていると思いま すか。	47.4	52.6	0.0	0.0	100.0	95.7
7		生徒の学力は向上していると思いますか。	0.0	42.1	57.9	0.0	42.1	39.1
8		生徒は忘れ物（宿題・提出物）が少ないと思いますか。	0.0	42.1	52.6	5.3	42.1	60.9
9		計画的な家庭学習の手立てをしていると思いますか。	5.3	57.9	31.6	5.2	63.2	60.9
10	生徒指導	生徒の挨拶はよくできていると思いますか。	5.3	47.4	47.4	0.0	52.7	82.6
11		生徒は学校や社会のルールが守れていると思いますか。	10.5	63.2	26.3	0.0	73.7	82.6
12		生徒（保護者）との対話と協働による人間関係づくりがで きていますか。	5.3	94.7	0.0	0.0	100.0	
13		いじめなどのない民主的な学級・学校づくりに努めてい ると思いますか。	21.1	78.9	0.0	0.0	100.0	91.3
14		生徒に関する情報の共有に努めていますか。	47.4	31.6	21.1	0.0	79.0	
15		生徒の間違った行動を適切に指導できていますか。	52.6	47.4	0.0	0.0	100.0	100.0
16		チームで対応する生徒指導ができていますか。	31.6	57.9	5.3	5.2	89.5	
17	どの先生も、同じ方針で生徒指導をしていると思いま すか。	10.5	78.9	5.3	5.3	89.4	78.3	
18	特別活動	生徒の清掃活動の状態は良いと思いますか。	42.1	47.4	10.5	0.0	89.5	91.3
19		生徒会活動や委員会活動は、生徒にとって充実している と思いますか。	5.3	84.2	10.5	0.0	89.5	82.6
20		学校行事（儀式、運動会、文化祭、宿泊研修等）は生徒に とって充実していると思いますか。	63.2	36.8	0.0	0.0	100.0	100.0
21		部活動は、生徒にとって充実した活動になっていると思 いますか。	26.3	68.4	5.3	0.0	94.7	95.7
22	道徳 人権・同和 教育	人の生き方について考えさせたり、豊かな心を育てよう としていますか。	31.6	68.4	0.0	0.0	100.0	95.7
23		人権・同和教育への取組は充実していると思いますか。	5.3	68.4	26.3	0.0	73.7	69.6

（考察）

- 教科指導について、No8で20ポイント近く評価を下げており、かつNo7、No9と併せ、肯定的評価がきわめて低調である。学習習慣の面で改善を進め、毎日こつこつと取り組む地道な活動の中から基礎・基本の力を向上させていかなければならない。
- No10について、昨年度比で肯定的評価を30ポイント下げている。半数の教職員が本校生徒の挨拶を改善すべきだと感じている。場に応じた話し方や振る舞い方を含め、全教職員のベクトルを合わせて本気で取り組まなければならない。
- 特別活動の領域では概ね高い評価がなされている。「運動会の応援合戦は本校の教育では重要な位置づけと考える」「（応援合戦は）先生方には大変だと思うが生徒たちは学習では見られないパワーを出す」という意見もあるので、各行事には来年度以降も大切に取り組んでいくべきであり、かつ教科指導との時間配分を十分に考慮しなければならない。
- 肯定的評価100%の項目が5つあり、本校、あるいは教職員集団の強みを示していると言えるが、あるべき学校の姿、あるべき教職員の姿の向こうに実像が隠れてしまった自己評価になってはいけない。謙虚かつ客観的に振り返りつつ実践を重ねていくべきである。

学校関係者評価の結果

角野中学校

(1) 学校関係者評価委員

- ・横山 泰茂 氏 (角野公民館長、学校評議員)
- ・直野真寿美 氏 (学校評議員)
- ・河野 大吾 氏 (角野中PTA 会長・学校評議員)

(2) 学校関係者評価結果

平成30年3月9日 実施

- 「学力」と一口に言っても、世の中の価値観が変わってきている。人によって違う。多様な価値基準に照らされて見られるこれからの生徒は大変だ。本人の目指す目標、基礎力の高さ、情報操作の能力、表現力、広く使える語彙など、様々なものを使える、身に付けた人になってほしい。また、耐性も必要だろう。打たれ強く育っているかどうか、など。
- 羽生結弦選手や小平奈緒選手など、オリンピックで活躍した選手たちは、競技ですばらしい成果を収めただけでなく、競技のあとのインタビューなどでしっかりと自分の思いや考えを発言、発信している。あのような若者を見ると同じ日本の人間として誇らしい。そういう教育も必要だと思う。
- 「学力」についての考え方をしっかりと検討していくべきだろう。現状としては保護者も生徒のみなさんも、何となく、テストの点数、成績にのみ焦点を当てて評価しているのではないか。音楽や美術などの実技教科のように、テストの点数以外で評価すべきものもある。「学力」のとらえ方について、しっかりと理解してもらったうえで評価してもらうのがいいのではないか。
- スマートフォン、携帯電話の利用については、これらといかに上手に付き合うかがこれからの課題であろう。講演会を行ったりPTAへの啓発も必要だ。しかし、何より使う人の感性こそ大切なのではないか。
- 地域の活動拠点としては、各種行事への中学生の参加や保護者の参加を頂ける活動は増やしてきた。今後も継続するつもりである。「生きる力」の育成に寄与できれば…、と考えている。
- 先生方の評価では、本校生徒の挨拶の出来がよくないとのことだけれども、個人的な印象では、生徒たちの挨拶はそんなに悪くはないと思う。そもそもコミュニケーション能力の低下が関係しているのだろうか、その点は職場でも感じるところである。

(3) 考察

委員の方からは、「学力」を何をもってどのようにはかるか、ということについて追究し、評価者である保護者、生徒、教職員で共通の認識をもつことの必要性を説かれた。それは人間形成も含めての評価であり、角野中学校区のランドデザインを具体的にどう読み解いていくか、ということにもつながるものである。ここに学校、家庭、地域の連携のヒントが一つあり、学校だよりなどを通じて「学力とは」また「道徳の教科化とは」などの話題を発信していくことが必要であると考えられる。そしてそれは生徒にとっても目指すべき角中生の方向性を示すものとなると思われる。

評価委員会中、CS化を踏まえて、CSとは何か、導入のメリット、具体的な場面の紹介をした。委員の方からも、これまでの連携、協力を継続させること、さらに発展させるべきこと等のご意見をいただいた。今回の評価や委員会を通じていただいたご意見を生かし、地域と共にある角野中学校として、生徒が社会性を身に付け、よく学び、心豊かに成長していけるよう、学びの環境を整えていかなければならないと考えている。